

1. 2019年度事業報告

I. 2019年度事業方針

食文化研究者の発掘・育成と研究・交流の場の継続的提供により、研究の更なる発展・拡大を図り、成果・知見の外部への体系的発信を通じて、食文化への関心を喚起し、理解を深める。

II. 2019年度事業報告

1. 食の文化フォーラム

(1) フォーラム40周年記念(2019-2022年度)の初年度としてフォーラム開催

2019年度食の文化フォーラム 年間テーマ『食の人類史』

コーディネーター：池谷和信氏(国立民族学博物館) 総合司会：山田仁史氏(東北大学)

① 第1回「食資源の開発」(2019年6月15日)

- ・「狩猟採集民」の食：池谷和信氏(国立民族学博物館)
- ・「牧畜民」の食：石井智美氏(酪農学園大学)
- ・「農耕民」の食：原田信男氏(国士舘大学)
- ・「都市民」の食：高田公理氏(元武庫川女子大学)

② 第2回「食の行動」(2019年9月28日)

- ・人間は何を食べてきたのかー食料、香辛料、調味料ー：落合雪野氏(龍谷大学)
- ・キッチン空間の全球全史ー過去を通してこれからのキッチン空間の可能性を考えるー：村松伸氏(東京大学)
- ・調理と料理 江戸時代～明治時代以降を中心に：江原絢子氏(元東京家政学院大学)
- ・食事と社会 誰とどこで食べるのか?：杉村和彦氏(福井県立大学)

③ 第3回「食の価値観」(2020年2月29日)

- ・人間集団の肉食：拡大する消費：野林厚志氏(国立民族学博物館)
- ・食と栄養、健康：梅崎昌裕氏(東京大学)
- ・保存することとインスタント食品：森枝卓士氏(ジャーナリスト)
- ・食とコミュニケーションの進化：山極壽一氏(京都大学)

第3回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため会場の参加人数を絞り、過半数はライブ視聴にて参加いただいた。

(2) フォーラム本の発刊：37『「国民料理」の形成』(西澤治彦編)2019年10月10日出版

(3) フォーラム40周年記念 書籍出版企画

- ・出版社を農山漁村文化協会(農文協)に決定、第1巻は2020年12月上旬出版予定
- ・財団10周年記念出版『講座 食の文化』7巻に続く食文化研究の集大成(全3巻)を目指す

2. 食の文化シンポジウム

(1) 2018年度フォーラムを題材としたシンポジウム開催(2019年11月9日)

テーマ：「国民料理」の形成とその展開～「フランス料理」と「日本料理」の比較を通して～

趣旨説明：「国民料理」という視点から見えてくるもの：西澤治彦氏(武蔵大学)

講演：「フランス料理」における国民的アイデンティティの形成：橋本周子氏(滋賀県立大学)

日本料理の「文法」と境界線の拡大：高橋拓児氏(京料理 木乃婦)

参加者：72名

(2) 共催シンポジウム：開催なし

人間文化研究機構との共催シンポジウムを休止し、財団設立30周年記念特別公開講座(後述)を開催した。

3. 食の文化研究助成

(1) 2019年度食の文化研究助成(2019年7月1日～8月31日募集)

応募27件から選考委員会で7件採択

申請者名	所属・肩書(2020年1月現在)	研究課題	助成金(千円)
浅井 薫	京都大学大学院 アジア・アフリカ地域研究研究科 博士課程	ブータンのトウガラシ利用に関する民族誌的研究：野菜と香辛料の区別を超えて	912
大久保 彩	東京大学大学院 総合文化研究科 博士課程	カリフォルニア日系農園におけるオルタナティブ食運動の人類学的研究 —「種(species/race)」を越える共生実験としての農業—	1000
梶谷 彩子	お茶の水女子大学 アカデミック・アシスタント	1920年代フランスを例としたガストロノミー、リージョナリズム、ツーリズムの影響関係の研究	1000
高木 仁	国立民族学博物館 外来研究員	カリブ海の旧英国植民地、モスクート海岸の食文化	980
武田 淳	公立大学法人静岡文化芸術大学 文化政策学部・講師	コーヒーの果肉・果皮をめぐる新たな食文化の創造過程— コスタリカ中央高地における廃棄物活用運動を事例に—	900
豊田 紘子	筑波大学 人文社会科学研究所 歴史・人類学専攻・博士課程	近代における日本産温州蜜柑の海外輸出—日本の「不吉な果物」はいかに北半球で食文化を形成したのか?—	930
山内 瑞貴	大阪大学大学院 文学研究科 文化形態論専攻・博士課程	19世紀後半における帝政ロシアへのインド茶の流通—中央ユーラシア地域の茶史の視点から—	1000
合計			6722

2019年度贈呈式・中間報告会(2020年3月10日)：新型コロナウイルスの影響で開催中止

4. 食文化誌『vesta』

(1) 販売実績

紙媒体に加え電子版の販売開始(115号～/富士山マガジン、amazon/Kindle、auブックパス等)

号数	特集テーマ	責任編集	雑誌販売数 (～2020.3)	電子版購読者数		発行年月
				auブックパス (UU:～2020.3)	Kindle Unlimited (UU:～2020.1)	
114	「平成の食」	中澤弥子氏	1,202冊	—	—	2019年4月
115	「刺激的な味—日本の辛い食べもの」	松島憲一氏	1,219冊	40	11	2019年7月
116	「調味料でめぐる各国の食」	立石博高氏	1,214冊	89	84	2019年10月
117	「食を「包む」	藤本憲一氏	1,166冊	38	22	2020年1月

(2) メールマガジン会員専用サイトにてバックナンバー公開(2020年3月末現在、90～95号)

(3) 2020年度(119号)から制作会社変更を決定、表紙・誌面デザイン刷新し、新規読者の獲得をめざす

5. 公開施設(ライブラリー・企画展示室)

(1) ライブラリー実績(2020年3月末現在)

・新規購入冊数	956冊	(対前年比 135%)
・新規購入金額	2,488千円	(対前年比 123%)
・来館者数	4,467人	(対前年比 80%)
・新規会員登録数	334人	(対前年比 62%)
・貸出冊数	5,912冊	(対前年比 83%)
・画像データ有償提供	43件	(対前年比 134%)

来館者、特に新規会員登録数が減少傾向にあり、原因を解析して今後の改善につなげる

(2) 企画展示室

① 「触れる錦絵・古典籍」タッチパネル導入の検討開始(原田信男先生監修)

所蔵錦絵・古典籍のデジタルデータを活用、触ると解説が読めるパネルを2020年度に導入する

② 「日本の食文化」投影映像第2弾制作の企画検討開始(江原絢子先生監修)

テーマ：料理書の変遷から見る日本の食文化



6. Webを通じたコミュニケーション

- (1) ホームページ：年間訪問者数 80,848（前年比 109%）
サイトリニューアル
・英語版サイト：全面リニューアル、英文エッセイ掲載など大幅に内容充実化
・錦絵ギャラリー（日本語版）：画像ズーム機能付与、検索システム改良
- (2) Facebook：財団記事の毎日更新、Facebook 読者（2020年3月末現在）順調に伸長
フォロワー：1,225人（前年同期比 159%）、いいね！：1,121人（前年同期比 162%）
- (3) メールマガジン：月1回発行
メールマガジン会員（2020年3月末現在）2,388人 前年同期比 111%
会員専用サイトを開設、公開講座同時配信や動画アーカイブなど閲覧可能に
- (4) Google Arts & Culture オンラインミュージアムサイト（2019年9月公開）
世界最大の非営利オンラインミュージアムサイトに当財団ページ開設、錦絵画像など多数掲載

7. 外部協力・連携

- (1) 所蔵資産貸出
 - ①森アーツセンターギャラリー「おいしい浮世絵展」（2020年春開催予定→開催延期）
錦絵・古典籍 80点貸出（～2020年6月貸出予定）
 - ②国立科学博物館特別展「和食～日本の自然、人々の知恵～」展（2020年春開催予定→開催中止）
古典籍2冊、『料理の友』3冊、秋山徳蔵メニューカード2点 貸出（～2020年6月貸出予定）
- (2) 外部委員
 - ①農林水産省「平成31年度地域の食文化の保護・継承事業」全国検討委員会 委員出席(笠倉知子)
- (3) 外部協力
 - ①講師派遣：文化学園大学での食文化講義（2019年6月）（草野美保）
明治大学での食文化講義（2020年1月）（草野美保）
 - ②書籍執筆：『中国料理と近現代日本―食と嗜好の文化交流史―』分担執筆(草野美保)
（岩間一弘編著/慶応義塾大学出版会/2019年12月刊行）

8. 財団設立30周年記念

- (1) 財団設立30周年記念 特別公開講座（2019年12月11日）
テーマ：江戸の食文化 ～ 江戸に学ぶ食の楽しみ～
基調講演：「江戸の料理文化とその展開」原田信男氏（国士舘大学）
講演：「歌舞伎と見る江戸の食」堀越一寿氏（歌舞伎大向弥生会）
「江戸の味わいと錦絵の楽しみ」林綾野氏（キュレーター・アトライター）
参加者：187名（一般85名、招待・財団関係62名、同時配信視聴40名）
講演テーマに連動した試食提供（江戸時代の再現寿司）、財団として初のWeb同時配信を導入
- (2) 30周年記念誌制作
財団設立20周年以降10年の活動記録を主としてまとめ、特集として理事の対談・鼎談を掲載
- (3) 30周年記念式典（2019年12月11日）
功労者9名を表彰、財団関係者50名参加

9. 理事会・評議員会

	開催年月日	主な議事
定時評議員会	2019年6月26日	第1号議案:「議長選出の件」 第2号議案:「議事録署名人選任の件」 第3号議案:「2018年度決算および事業報告承認の件」 第4号議案:「定款変更の件」 第5号議案:「役員選任の件」 報告事項 ①「代表理事・業務執行理事の業務執行状況報告」 ②「味の素株式会社および関連企業との2018年度取引実績報告」
第1回理事会(書面開催)	2019年5月31日	第1号議案:「2018年度決算と事業報告に関する件」 第2号議案:「2019年度定時評議員会開催に関する件」 第3号議案:「役員候補者指名に関する件」 [報告事項] 「味の素株式会社およびその関連企業との2018年度取引実績の件」
第2回理事会	2019年6月26日	[報告事項] 「代表理事・業務執行理事の職務執行状況の報告」
第3回理事会	2019年6月26日	第1号議案:「理事長・副理事長・専務理事選任の件」 第2号議案:「名誉顧問選任の件」
第4回理事会(書面開催)	2019年11月28日	第1号議案:「2019年度食の文化研究助成対象の採択について」
第5回理事会(書面開催)	2020年3月11日	第1号議案「2020年度事業計画および予算案の件」 第2号議案「2020年度予算における味の素株式会社およびその関連企業との取引予定金額の件」

以上